



学校便り

長崎県立日見中学校

令和4年6月1日

第4号

文責 校長 平野

【 高田明氏 講演 決定 】

通販大手の(株) ジャパネットたかたを立ち上げたことで有名な高田明氏の講演が決まりました。



前回の学校便りで、「人間も立派 お金もうけも上手 そんなカッコイイ大人には どうすればなれますか」という渋沢栄一氏を書いた本の帯の^{おひ}ことばが、まるで高田氏のことを言っているみたいだと感じ紹介していました。

直接ご本人の話を子ども達に聞かせることができないだろうかと、数度にわたり問い合わせをしていたのですが、ついに、思いが通じて来ていただけることになったのです。

サッカーのV・ファーレン長崎の社長でもありました。

どんな話が聞けるのか、今から楽しみです。

講演日 9月27日(火)

テーマ 「令和の渋沢栄一 高田明が
中学生に語る 平和と算盤」

渋沢栄一「論語と算盤」がヒントです。

【 今年の平和学習 】

今年の「平和学習」は以下4本が柱です

- ・被爆体験講話
- ・8月9日平和学習
- ・「平和と算盤」講話 講師 高田明氏
- ・パネルディスカッション (高校生平和大使等)

詳しくは裏面で紹介します

【 6月の行事予定 】

- 2日(木) 眼科検診(2年)
- 8日(水) 振替休日
- 9日(木) 被爆遺構巡り(1年)
- 10日(金) 市中総体激励式
- 11日(土) 市中総体(1日目)
- 12日(日) 市中総体(2日目)
- 13日(月) 市中総体(3日目)
- 14日(火) 振替休日
- 16日(木) SNS講話 講師:今村健吾先生 (精道三川台中高等学校)
- 18日(土) 市中総体(水泳等 1日目)
- 19日(日) 市中総体(水泳等 2日目)
- 21日(火) 期末テスト(1日目) 午前日課
- 22日(水) 期末テスト(2日目)
- 22or23日 ピースキャラバン講演(3年)
- 30日(金) お茶・お菓子講習会(3年)

【 変面ショー 決定 】

平和学習に取り組むために大切なことの一つは、自分自身が礼節を身につけることです。古くからその大切さを説いているのが孔子で、その教えをまとめたのが論語です。

孔子については道徳や国語の授業で学習しており、長崎には孔子廟^{こうしひやう}もあります。

ところが、行ったことがある生徒が少ないようなので、「中学生に孔子廟のことを教えていただけないでしょうか」と尋ねてもらったところ、数日後何とOKの返事。しかも、変面ショーもしていただけるとのことでした。

問い合わせくださった教頭先生と手を取り合って喜びながら、子ども達がいかに社会から大切に思われているか再認識したところでした。

来校日は9月16日(金)「礼」についてしっかり学びます。



孔子廟 変面ショー

【 被爆体験 講話 】

長崎に原爆が投下されて今年で77年目を迎えます。

その時生まれたばかりだった方でも、すでに80歳近くになられているということです。



今までは、被爆者の方達によって核兵器の恐ろしさが語られ、おかげで戦争により核兵器が使われることはありませんでした。

しかし、その方達が亡くなった後、核兵器への恐怖がうすれ再び使われてしまうのではないかというのが、「被爆者なき時代」に最も恐れられているところです。

今年は継承される方ではなく、あえて被爆を体験した方をお呼びしています。直接話を聞けるのはこれで最後かもしれません。

覚悟をもって講話に臨みたいと思います。

【 平和と算盤 講話 】

標記は「論語と算盤」をヒントにして考えたことばです。

人は我が身の安全のために戦車や戦闘機にお金を使い、果ては核兵器まで作り出しました。



著者 守屋淳 出版 祥伝社

ならば、絶対安全を保障する反核平和の実現のためにもお金が出せるのではないだろうかと考えたからです。

しかし、「平和では飯は食えない」と言った人がいるように、そうっていないのが現状です。

そこで、「伝える力」を使って「論語と算盤」を実現した高田明氏なら、今は遠くに見える「平和」と「算盤」を近づけるためのヒントを示してくれるのではないかと考え、キャリア教育と兼ねて計画しました。

【 8月9日 平和学習 】

「長崎から考える世界平和」をテーマにした考察を8月9日の学校便りに掲載します。

ドキュメンタリー映画「東京裁判」を、私が大学生の時に観てからずっと考え続けてきたことをもとにしています。

それを読んで、子ども達に何に気づき・行動していけばよいのか考えてもらいます。

平和学習実行委員長には3年生の石黒悠真君を指名しました。昨年本校にやって来た嘉代子桜2世をシンボルとした「嘉代子桜3世プロジェクト」を提案してもらいます。



絵：樽水伶奈

【 パネルディスカッション 】

できるだけ生徒の年齢に近い方に、平和に対してどのように考え行動しているのか、お聞きしたいと思っています。

そこで、パネラーとして予定しているのは高校生平和大使・長大レクナの大学生、そして昨年本校で被爆体験継承講話をしていただいた山野湧水さんです。

聞くだけではなく、これから日見中学校が取り組もうとしていることに対して意見を求めるつもりです。

ただ、山野さん以外はまだ決まっているわけではありません。

これからお願いして回ります。



高校生平和大使